

十戒シリーズ: 第三戒 “主の御名をみだりに唱えてはならない”

「神の御名を大事にする」

出エジプト記 20:7

2017.04.09 HKJCF

1

概観

十戒の第三戒を通して、神の御名の意味、その御名の尊さ、神の聖さやご人格を理解することを通して、クリスチャンとしての正しい生活や証をしていきたい。

アウトライン

1. 神の御名を忘れない
2. 神の御名をみだりに唱えない
3. 神の御名を汚さない
4. 適用: 神の御名を広める

2

1. 御名を忘れない

- 1) YHWH: 永遠の、創造の、唯一の、契約の、アイヤの神(出エジプト 3:14-15); 人は神の所有。律法的に、極端な解釈は良くない。
- 2) 父なる神様: アバ父の御名をあがめるように(マタイ 6:9); 聖い神、栄光の神。
- 3) イエス様: イエシュア: 主は救われる。十字架の御業(ピリピ 2:6-11); 唯一の救いの道(使徒 4:12); 呼び求めれば(ローマ 10:13)。
- 4) 聖霊様: 助け主、内住の神(ヨハネ 14:16-17); 備えて下さる神(I コリント 12:4-7)。

2. 御名をみだりに唱えない

- 1) みだりに: 悪を行う、偽り、むなしい。
- 2) 唱える: 運ぶ、使う。
- 3) 約束事、誓い: 架空の約束、守る意思がない約束を作らない(レビ 19:12)。
- 4) 身をかわす名人: パリサイ人は上手に誓って、責任を逃れていた(マタイ 5:33-37)。神様は遍在の神; 信用がとても大事。
- 5) 言葉遣い: 神の裁きを代弁しない; 苦難の時は慰めの言葉。御心を勝手に宣言しない。

4

3. 御名を汚さない

- 1) 御名のイメージ: 安全で、堅固なやぐら(箴言 18:10)。クリスチャンとして、この名を運んでいるため、イメージを保つ必要がある。
- 2) 義の道: クリスチャンの言動; 自分の基準でなく、主の義、主の栄光のため(詩篇 23:3)。
- 3) 偶像礼拝: モレクに子どもの祝福を祈ってもらっただけでなく、犠牲、いけにえとしてささげてしまった(レビ 18:21)。第一戒を違反。
- 4) 呪文ではない: 異教の祈り方; 名をつかむと、力をつかむという考え方だった。

5

4. 適用: 御名を広める

クリスチャンとして、三つの適用を考える:

- 1) 救いを広める: 父のみもとに戻る唯一の道、真理、命(ヨハネ 14:6)。
- 2) 信用を広める: 約束を守ること、商売の契約を守ることは評判を保つ(ヤコブ 5:12)。
- 3) 習慣を広める: 礼拝、交わり、成長、奉仕、伝道の霊的習慣を示していく。

6